

行財政改革推進特別委員会の報告

六月議会初日に、閉会中の四月九日、五月二十四日に開かれた「行財政改革推進特別委員会」の協議の結果が報告された。委員長報告から抜粋して掲載する。

住宅新築資金貸付金の滞納整理の状況

平成二十一年度の全体的な傾向として債務者の高齢化、収入減等により償還期間が延びるケースもある。債権放棄の今後の取り扱いについて私債権の条例適用の見解等の報告を受け、質議がなされた。

市営住宅使用料の滞納整理の状況

平成二十一年度徴収実績は現年分については前年と同水準。四月末の徴収率は現年度が九七・八七％、過年度が一五・九八％との報告があった。滞納分は死亡、行方不明等により回収困難債権が率としては増加している。訴訟は一件保証人に対しての完納指導依頼、催告の効果が現れてきている。

市税等の収納対策

コンビニ納付について審査を行った。システム改修にかかる費用や、収納代行者への手数料がかかるなど、費用対効果からしても導入は考えられない。口座振替の推進や納税意識の高揚を図ることが肝要との見解に至った。

行財政改革推進特別委員会の総括では、この間の審査内容ごとに委員より意見を求め成果や今後の課題等についてとりまとめ市長に報告することとした。

～4年間の主な取組み～

- 各種税、市営住宅使用料、保育料、給食費等の滞納整理状況の調査
- 住宅新築資金等貸付金事業の滞納整理状況の調査
- 長期病欠職員の現状と対応策
- 市内各施設の管理委託及びその他の委託業務の現状と改善策（提言書を市長に提出）
- 社会体育施設の使用料の平準化
- 市営住宅入居者に対する連帯保証人2名の徹底と給水停止措置の提言
- 行政組織機構の再編について意見交換

まちづくり推進特別委員会の報告

まちづくり推進特別委員会では閉会中の四月十五日、五月十七日に会議を開き、観光振興策、香美市観光協会の現状と課題等について協議を行った。委員長報告から抜粋して掲載する。

香美市の観光振興策は

現状の課題は、既存の観光地の活性化や観光ルート、PR、多方面への情報発信が十分との報告がされた。

対応策として、地域住民や事業者、団体が主体となる資源を掘り起こして支援し、香美市ブランドの確立、商品の開発販売促進を行うっていく方向が示された。

委員からはべふ峡温泉の経営面についての質問や意見が多く出さ

れた。担当課から、コンサルタントが入ったからの状況について、「食」の改善、職員の意識改革、管理職のリーダーシップなどに指導があつたと報告がされた。

アンパンマンミュージアムは、連休やゴールデンウィークには観光客に対応しきれない。駐車場の整備やバスによるピストン輸送などの対策が急がれる。

その他、ほつと平山や、べふ峡保勝会、龍河洞などについて現状が報告され協議された。

観光協会の課題は

商工観光課としては、観光協会に独自性をもたせ独立した運営をしていく方向で進めているが事務局を独立させることへの執行部の了解は得られていない。

市の補助金の繰越金が出ることに意見が出された。事務局主導でやっているというところで継続が困難か地域力を生かすことが必要などの意見が出された。

～4年間の主な取組み～

香美市全域における市民生活のあるべき方向を目指し、4項目について審査、協議を行い、市長に対し提言書を提出した。以下、提言書の抜粋である。

- 人口の定住策…道路網等の充実・飲料水供給施設等の完全整備・情報発信網の整備・UI J ターンの受け入れ体制・教育環境の充実・防災対策・工科大学との連携
- 産業の振興策…農産物の数量の確保と品質保持・間伐事業のため林道、作業道の開設・地場伝統産業への助成・香美市ならではの観光資源を生かし、観光会社等との連携を強化
- 福祉の充実…子育て負担の軽減・福祉タクシーの充実拡大・高齢者、障害者への対応
- 基盤整備…あけぼの街道の早期完成